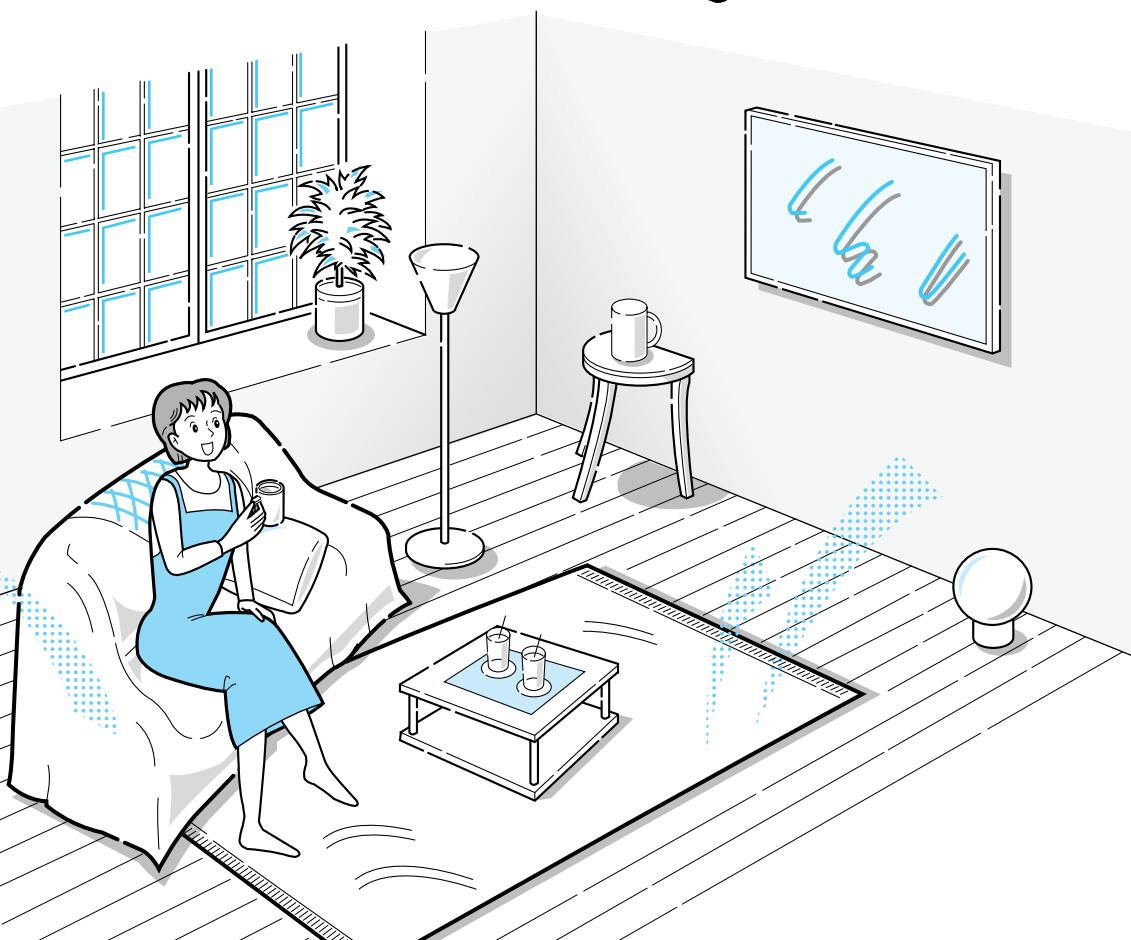
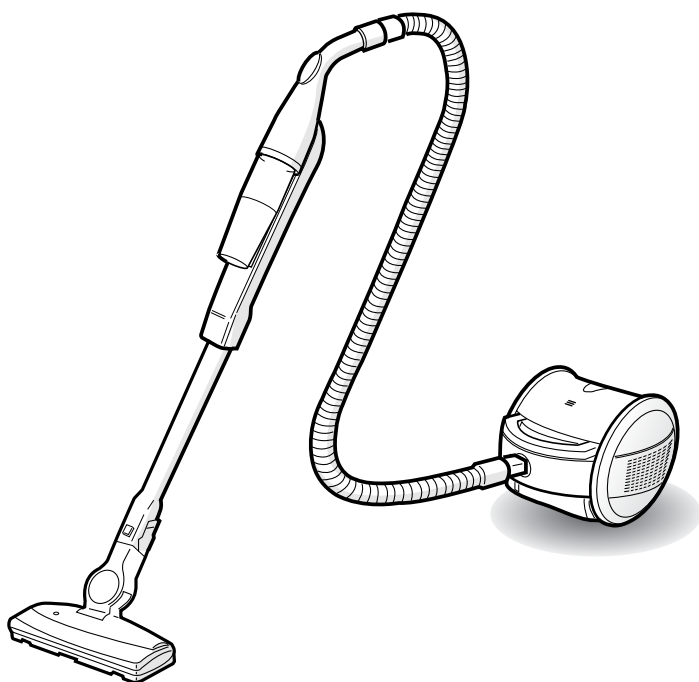
掃　除　機

形名

EC-AP1
（イー シー エイ ピー）

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

吸じん力が持続し、排気もクリーン、お手入れ簡単サイクロン吸じん

〈ごみと空気を遠心分離〉

- 紙パックがないので、ごみが溜まっても、使い始めの吸じん力が持続します。
- ダストカップをはずして簡単にごみ捨てできます。

プラズマクラスターイオンでお部屋の空気まできれいに

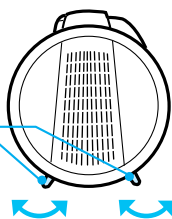
- お部屋を移動しながら、プラズマクラスターイオン (＋と－イオンの集合体) を放出し、空気中に浮遊する「カビ菌」をやっつけます。

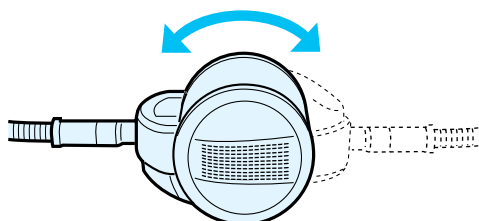
1 プラスイオンとマイナスイオンそれぞれ数万個を空気中に放出。

2 プラズマクラスターイオンが浮遊「カビ菌」を取り囲み、やっつける。

左側車輪から排出される排気にのって、プラズマクラスターイオンが放出されます。

サッと簡単スタンド収納「ラクラクマジックスタンド」

- 2本の可動脚により本体を立てるだけで楽にスタンド収納ができます。
- 走行中は本体の動きに合わせて脚を収めます。

お掃除中に横転しない「エッグスタイル」

- 本体は前後に180度反転して使えるので、お掃除中に方向が変わっても、横転することがありません。

HEPAクリーンフィルター集中排気構造

- 排気はすべて、0.3ミクロン以上の微細塵をしっかりとらえるHEPAクリーンフィルターを通って排出されます。

耳に聞こえる音※が強モードの約半分「優しさモード」

- 「優しさモード」ボタンを押すと、「強」モードより約10dB音が小さくなります。

※耳で感じる音の大きさの比較。(音の感覚量 SONE 値の比較)
10dB 下がれば SONE 値は約 1/2 となります。

取れにくいごみもしっかりかき出すパワーブラシ

- 吸込口内蔵モーターで強力にブラシを回転させ、じゅうたんのごみをかき出します。

タテ･ヨコ走行自在の"奥の手"機能

- 手首をひねるだけで、吸込口がタテ向きに。
- 自在車輪で前後左右に走行自在。

もくじ

安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警　告
人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注　意
人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

禁止
してはいけないことを表しています。

分解禁止
分解や修理改造の禁止を表しています。

ぬれ手禁止
ぬれた手で触れてはいけないことを表しています。

水ぬれ禁止
ぬらしてはいけないことを表しています。

接触禁止
触れてはいけないことを表しています。

火気禁止
火気を近付けてはいけないことを表しています。

必ず実施
しなければならないことを表しています。

プラグを抜く
必ず差込プラグをコンセントから抜くことを表しています。

● 「安全上のご注意」は使う前に必ず読み、いつでも見られる所に保存しておいてください。

⚠ 警　告

禁止

灯油・ガソリン・可燃性ガス・タバコの吸殻・線香などを吸わせない。
トナーなども吸わせないでください。火災の原因になります。

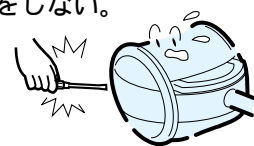
禁止

傷んだ電源コードや差込プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない。
感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷付けない、無理に引っ張ったり、曲げたりねじったり、重い物を載せない、挟み込むなどしない。
電源コードが傷み、火災・感電の原因になります。

電源コードをブラシの回転部分に巻き込ませない。
コードの損傷により感電することがあります。

分解禁止

絶対に分解したり修理改造をしない。
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

ぬれ手禁止

濡れた手で差込プラグの抜き差しはしない。
感電やけがのおそれがあります。

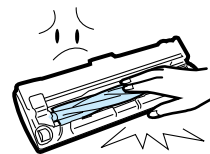
水ぬれ禁止

水洗いや風呂場などの湿気の多い所での使用、水の吸込みは、絶対にしない。
感電やショート・発火の原因になります。
(ダストカップ・内筒・回転ブラシ・フィルターは水洗いできます。)

接触禁止

回転ブラシやセーフティーストップ機構には触れない。
手などにけがをすることがあります。とくにお子様にはご注意ください。

必ず実施

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因になります。

差込プラグのほこりなどは定期的にとる。
プラグにほこりなどが溜まると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き乾いた布で拭いてください。

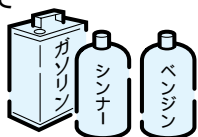
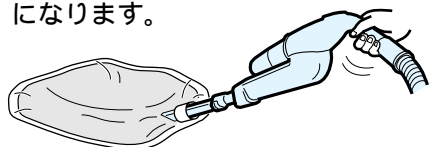
差込プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

プラグを抜く

お手入れ・点検の際は、必ず差込プラグを抜く。
感電やけがのおそれがあります。

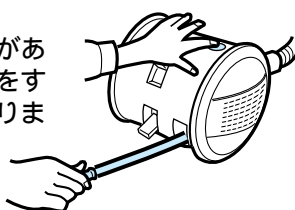
⚠注　意

排気口をふさがない。
火災の原因になります。

引火性のもの(ガソリン・ベンジン・シンナー)の近くで使用しない。
爆発や火災の原因になります。

吸込口をふさいで長時間運転しない。
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

ホース差込口・ホース・樹脂製ズームパイプの接点、排気口に金属類・ピンなどを入れない。
感電や故障の原因になります。

火気に近付けない。
本体の変形によるショート・発火の原因になります。

差込プラグを抜くときは必ず差込プラグを持って抜く。
感電やショートし発火することがあります。

コードを巻き取るときは、差込プラグを持つ。
差込プラグがあたってけがをすることがあります。

使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

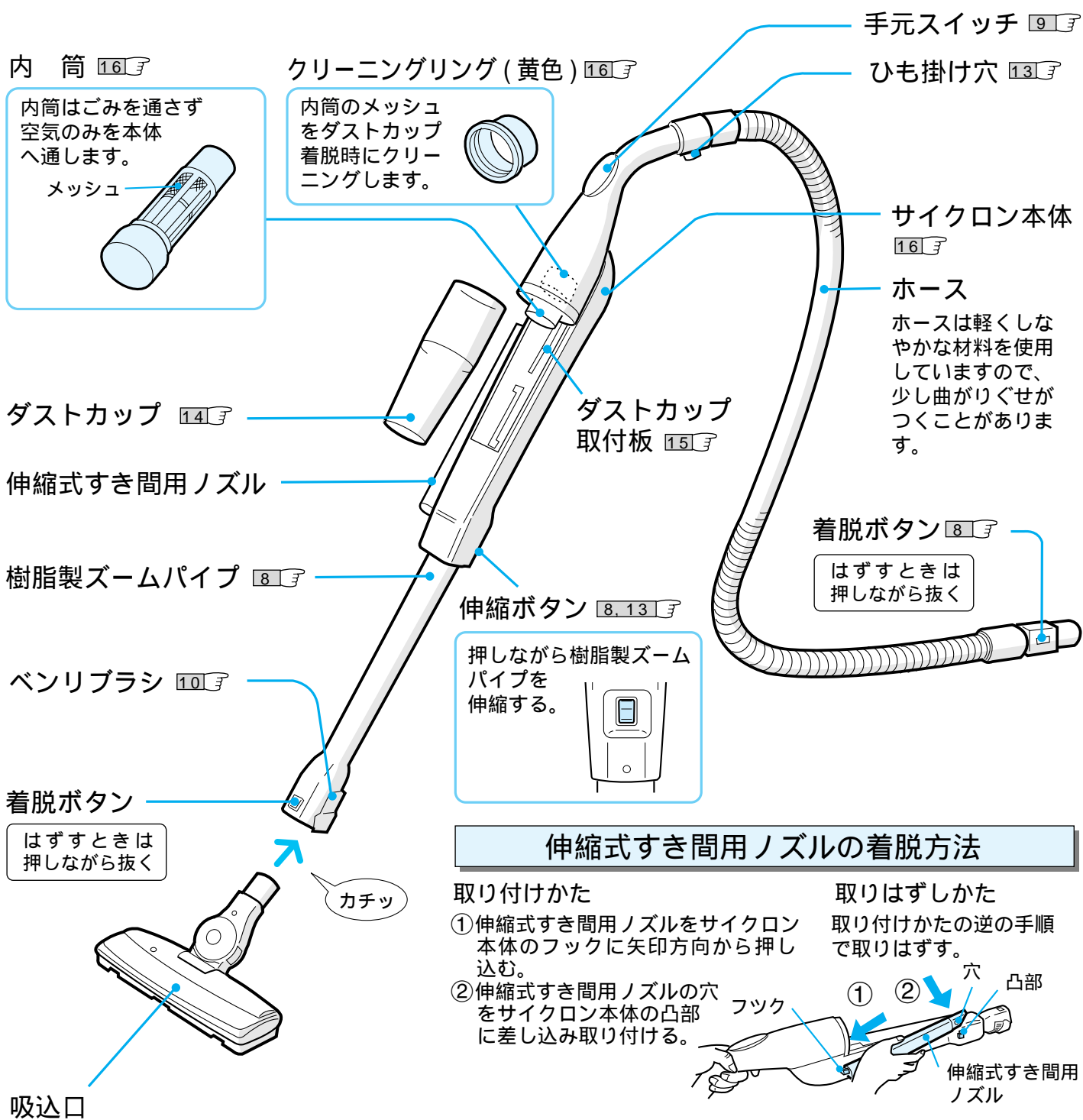
お願い

- **水や液体・湿ったごみ・ピン・針・ひも・シンナー・油・ベンジンや殺虫剤などは吸わせない。**
  故障の原因になります。
- **ガラス・カミソリなどの鋭利なものや、大量の砂などは吸わせない。**
  ダストカップや内筒のメッシュに傷が付きます。
- **コードの長さ以上(5m)を無理に引っ張らない。**
  差込プラグの根元が繰り返し折れ曲がると、断線の原因になります。
- **石こう・セメント・チョークなどの、非常に細かい粉を吸わせると内筒のメッシュが目詰まりして、サイクロンの吸塵力が低下します。**
  その場合は、内筒をはずして水洗いしてください。
- **大きなごみや一度に大量のごみを吸わせない。**
  吸込口・ホース・樹脂製ズームパイプ・サイクロン部でごみ詰まりの原因になります。
- **取扱いはやさしく。**
  ホースを急激に引っ張ったり、踏んだり、また重い物を載せないでください。
- **排気口に指・ヘアピン・つまようじ・コインなどを入れない。**

- **クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音)がお知らせしたら手元スイッチを切り、ダストカップのごみを捨ててください。**
  また内筒のメッシュを月2回、本体のフィルターを、月1回お手入れしてください。
- **ダストカップ・内筒とクリーニングリング・回転ブラシの水洗い後は、乾いた布で水滴を拭き取ってください。**
- **フィルターの水洗い後は、陰干しして十分に乾燥してからお使いください。**

- **この掃除機は家庭用です。業務用としての使用はできません。**
- **お掃除以外に使用したり、吸込口を密閉して使用しない。**
  故障の原因になります。
- **土間などを掃除すると、吸込口が傷付きますので、おやめください。**
- **本体は押入れ・お部屋の隅などにひも掛け穴にひもを掛けて倒れないように立てて保管してください。**
  倒れてけがや床面を傷付ける原因になります。

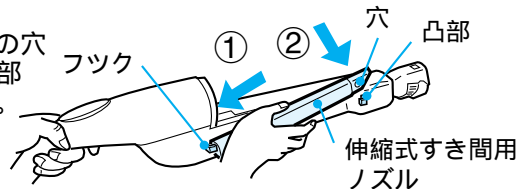
各部のなまえ

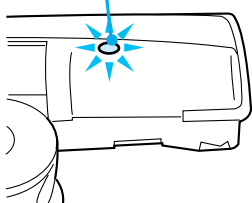
☞ 内の数字は主な説明のあるページを示します。

伸縮式すき間用ノズルの着脱方法

取り付けかた

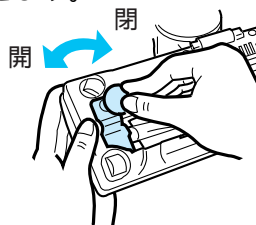
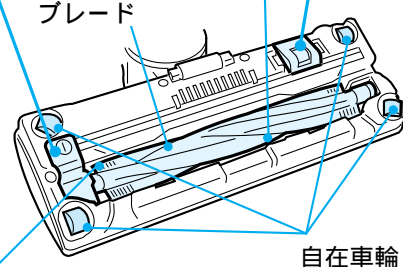
①伸縮式すき間用ノズルをサイクロン本体のフックに矢印方向から押し込む。
②伸縮式すき間用ノズルの穴をサイクロン本体の凸部に差し込み取り付ける。

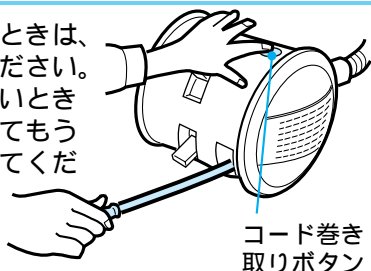
取りはずしかた

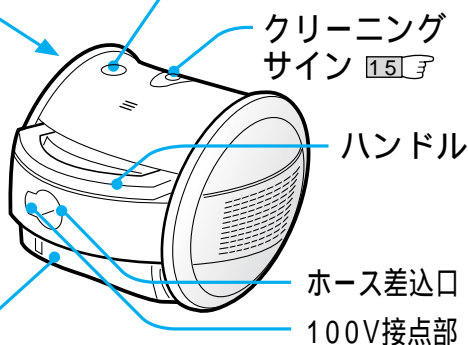
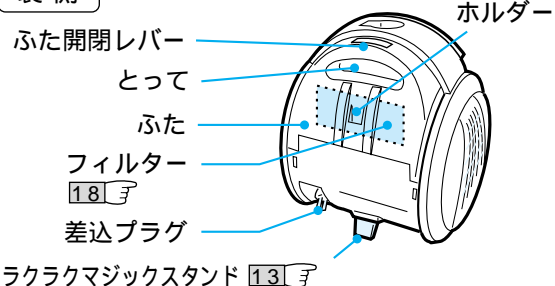
取り付けかたの逆の手順で取りはずす。

パワーブラシ動作表示

回転ブラシが動いていると「緑」のランプが点灯します。
パワーブラシの強弱運転で明るさが変わります。

裏面

ブラシカバー 17☞

ブラシカバーの溝にコインなどを入れて回すと、ブラシカバーの開閉ができます。

コード巻き取りボタン

コードを巻き取るときは、ボタンを押してください。完全に巻き取れないときは、少し引き出してもう一度ボタンを押してください。

● コードを引き出すときは、コード根元の赤マーク以上引っ張らないでください。断線の原因になります。

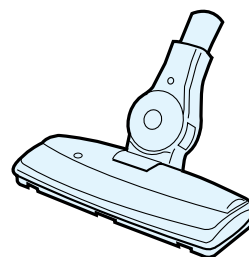
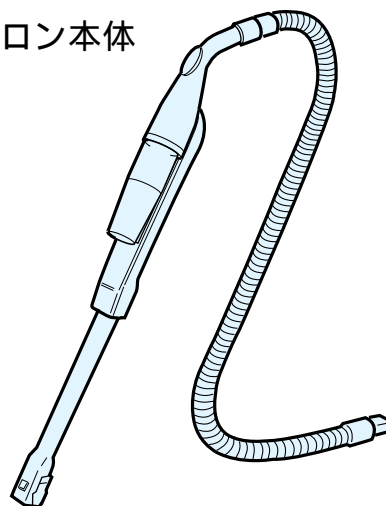
●運転中モーターの排気熱により、本体やコードが熱くなりますが、異常ではありません。

セーフティストップ機構

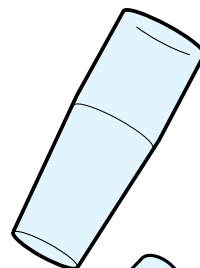
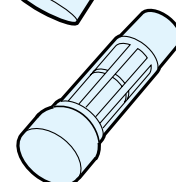
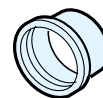
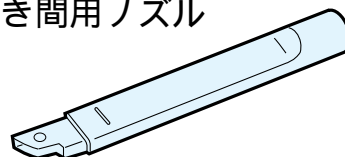
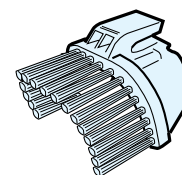
安全のため、吸込口を床面から浮かすと、回転ブラシが自動的に止まります。

● 床面から浮かしたままセーフティストップ機構に手をふれないでください。回転ブラシが動きだし危険です。

● セーフティストップ機構よりカラカラと音が出ることがありますが異常ではありません。
● 吸込口をひっくり返して、セーフティストップ機構を押しても、回転ブラシは動作しません。

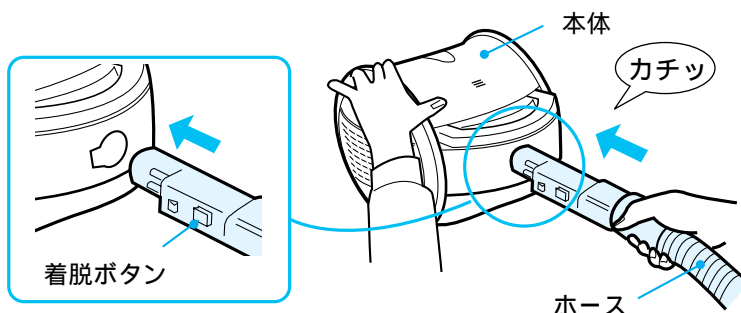
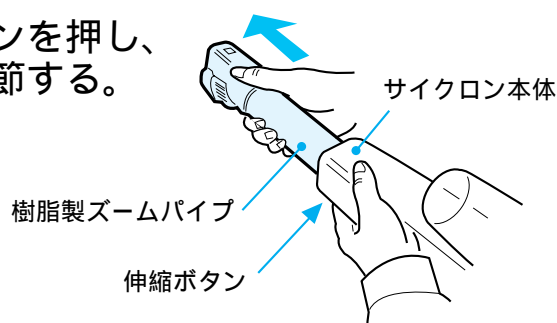
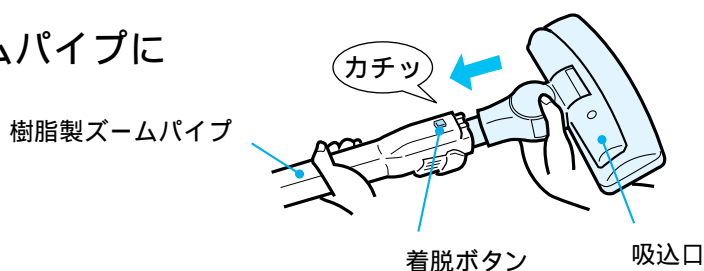
付 属 品

吸込口
(1個)

サイクロン本体
(1本)

ダストカップ
(サイクロン本体装着1個)

内　筒
(サイクロン本体装着1個)

クリーニングリング
(サイクロン本体装着1個)

伸縮式すき間用ノズル
(1本)

ベンリブラシ
(サイクロン本体装着1個)

印刷物付属品 (1部)
取扱説明書(保証書付)

ご使用前の準備

ご使用前にダストカップ内のシート「ダストカップの取り付けかた」は、取り出してください。
ダストカップの取りはずしかたは **14☞ をご覧ください。**

1 **サイクロン本体のホースを本体に取り付ける。**

2 **サイクロン本体下側の伸縮ボタンを押し、樹脂製ズームパイプの長さを調節する。**

3 **吸込口を樹脂製ズームパイプに取り付ける。**

4 **差込プラグをコンセントに差し込む。**

- サイクロン本体・吸込口を取り付けるときは、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- サイクロン本体・吸込口をはずすときは、着脱ボタンを押したまま引き抜いてください。

基本的な操作のしかた

手元スイッチの使いかた

ふだんのお掃除

1 **強/弱 を押す。**

強弱は、お掃除の場所に合わせて選んでください。（10☞）

2 **運転を止めるときは 切 を押す。**

「パワーブラシ」ボタン

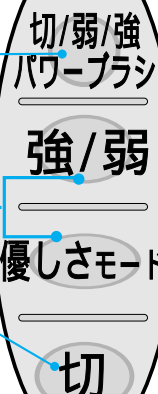
お掃除モード

運転停止/
プラズマクラスターイオン発生切り換え

切/弱/強
パワーブラシ
強/弱
優しさモード
切

夜など音が気になるとき

- 優しさモードをお使いください。
- 吸込口の回転ブラシの回転が気になる場合は、「パワーブラシ」ボタンを押して回転ブラシを止めてください。

- 「パワーブラシ」ボタンを先に押しても運転しません。
- 強/弱 優しさモード 運転によって回転ブラシの動作は異なります。（10☞）
  「パワーブラシ」ボタンを押すごとに回転ブラシの動作は 切 → 弱 → 強 → 切 の順で切り換わります。
  回転ブラシを 切 でお掃除中にお掃除モードを押すと、再び回転ブラシが動作します。
- 回転ブラシを 切 にしてお掃除をしながら「パワーブラシ」ボタンを押すと、ダストカップにごみが一度に溜まり、ダストカップの「ゴミ捨て」ラインにごみが溜まる前に吸わなくなることがあります。
  そのときにはごみを捨ててください。（14☞）

プラズマクラスターイオンユニットの運転入/切について

掃除機の運転をおこなうと、プラズマクラスターイオンが発生しプラズマクラスターイオンランプが点滅します。掃除機の運転を止めるとプラズマクラスターイオンの発生が止まり、プラズマクラスターイオンランプが消灯します。

掃除機の運転中にプラズマクラスターイオンの発生を止めたいとき。

- 掃除機の運転を止めた後、切 を2秒以上押し続けると、**ピッと1回ブザーが鳴り、**その後の掃除機の運転ではプラズマクラスターイオンは発生しません。また、プラズマクラスターイオンランプも消灯します。

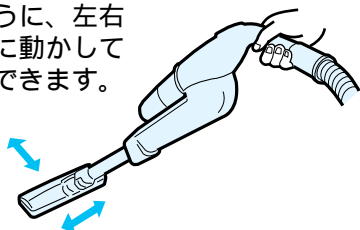
再び掃除機の運転中にプラズマクラスターイオンの発生をさせたいとき。

- 掃除機の運転を止めた後、切 を2秒以上押し続けると、**ピッピッと2回ブザーが鳴り、**その後の掃除機の運転ではプラズマクラスターイオンが発生し、プラズマクラスターイオンランプも点滅します。

- プラズマクラスターイオンの発生を止めた場合でも、差込プラグをコンセントから抜くと、設定は解除されます。

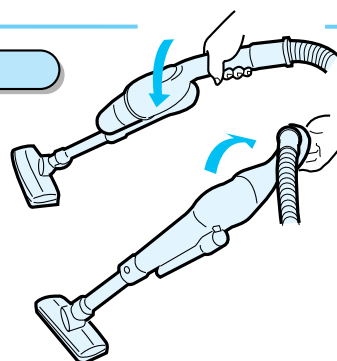
"奥の手"機能の使いかた

通常のお掃除

通常の前後の動きの他に、図のように、左右にも楽に動かしてお掃除できます。

狭い所のお掃除

吸込口を少し押し付けながら手元をひねると、吸込口の向きが変わります。

左に傾ける

右に傾ける

場所に合わせたお掃除のしかた

差込プラグをコンセントに差し込み、お掃除モードを選び、手元スイッチを押します。

切/弱/強
パワーブラシ

強/弱

優しさモード

切

じゅうたん

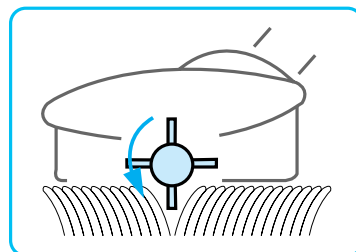
 を1回押す。

本体と回転ブラシが 強 で動作します。

 を押す。

本体と回転ブラシの運転が止まります。

お知らせ
- 夜などの音が気になる場合は 優しさモード をお使いください。

回転ブラシが強い力で回転し、じゅうたんにからんだ毛髪・奥まった所にある砂ごみをかき出し、吸い取ります。

床・たたみ

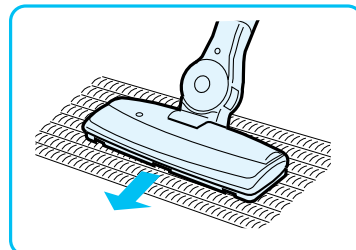
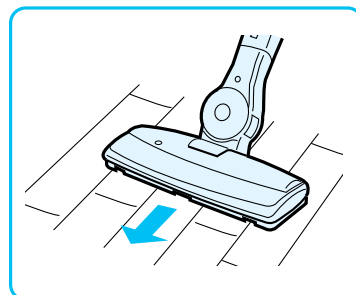
 を2回押す。

本体が 弱、回転ブラシも 弱 で動作します。

切 **を押す。**

本体と回転ブラシの運転が止まります。

お知らせ
- 夜などの音が気になる場合は 優しさモード をお使いください。

傷付き防止のため床やたたみの目にそって軽くすべらせます。

カーテン・すき間

まず樹脂製ズームパイプの先に、伸縮式すき間用ノズルを取り付ける。または、ベンリブラシをセットする。

優しさモード **を押す。**

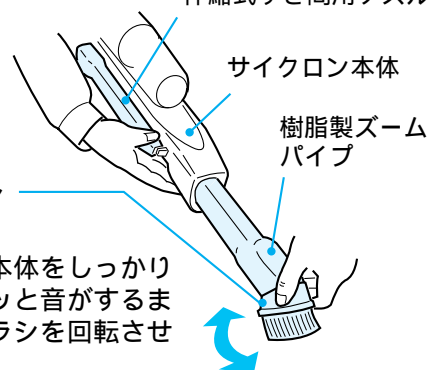
本体が 優しさモード で動作します。

 を押す。

本体の運転が止まります。

伸縮式すき間用ノズル
サイクロン本体
樹脂製ズームパイプ

ベンリブラシ使いかた
サイクロン本体をしっかり持ち、カチッと音がするまでベンリブラシを回転させてください。

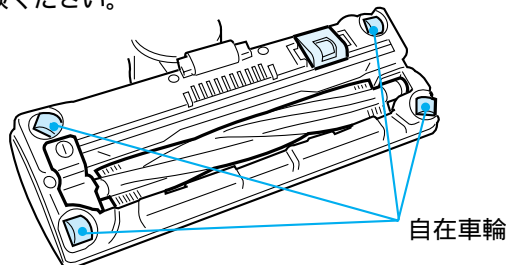
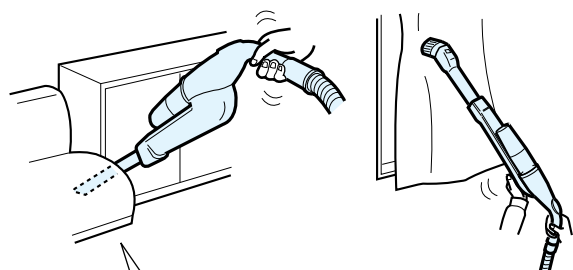
ベンリブラシを強くひっぱらないでください。はずれる場合があります。はずれたときは、ベンリブラシの凹部を樹脂製ズームパイプの凸部に合わせはめ込んでください。(両側2カ所)。

お掃除(じゅうたん, 床·たたみ)の際の吸込口の動かしかた

①掃除機の吸込口は床面に強く押し付けないで、ゆっくりと軽く前後に動かします。
②掃除機の吸込力と吸込口の回転ブラシによるかき出し力が効果的にはたらき、楽な姿勢でお掃除ができます。

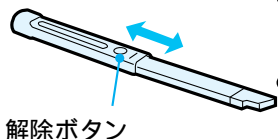
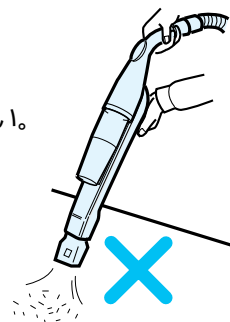
①まず一定方向に
②次に直角方向に
③最後に残った隅を
お掃除します。

- はじめてお使いのときは、回転ブラシのかき出しでダストカップにじゅうたんの遊び毛などのごみが多く吸い込まれますので、早めにごみを捨ててください。徐々にごみが少なくなります。
- 吸込口を同じ場所で長く使ったり、じゅうたんや床・たたみに強く押し付けると、じゅうたんや床・たたみを傷めることがあります。

- 床·たたみでは回転ブラシを **強** でお掃除しないでください。回転ブラシの強い回転で、傷付きの原因となることがあります。
  床・たたみでは回転ブラシを **弱** でお使いください。

- 新築などのワックスがけされた床は吸込口の移動により、光沢の差がでることがあります。
  光沢の差がでたときは、水を含ませた布で拭き取った後、ワックス拭きをし、乾燥させてください。
- 吸込口を床に強く押し付けたり自在車輪が摩耗していると、床面を傷めることがあります。
  自在車輪が摩耗しているときは、お買いあげの販売店にご相談ください。

こんな所にお使いください

伸縮式すき間用ノズルの使いかた

- 伸ばすときは「カチッ」と音がするまで伸ばします。
- 縮めるときは解除ボタンを押しながら縮めます。

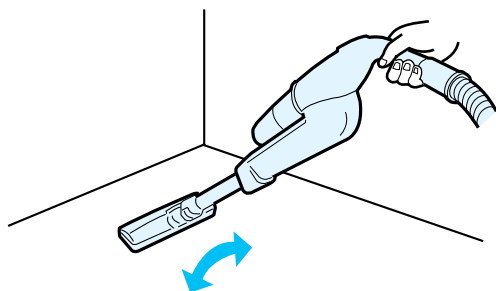
解除ボタン

- サイクロン本体のみでお掃除しないでください。故障の原因になることがありますので、伸縮式すき間用ノズルやベンリブラシをお使いください。
- 伸縮式すき間用ノズルは **優しさモード** でお使いください。
- 伸縮式すき間用ノズルをはずすときは、回しながら抜いてください。

- カーテンなどの高い場所をお掃除するとき(ダストカップが逆さまになる)も、ごみはダストカップに溜まりますが、**手元スイッチの「切」を押す場合は、吸込口を下に向けてから**おこなってください。また、内筒のメッシュへごみが付着する場合がありますので、その場合はダストカップのごみを捨ててください。(14☞)
- 吸込口を付けて **優しさモード** を押すと、本体は **優しさモード** 回転ブラシは **弱** で動作します。

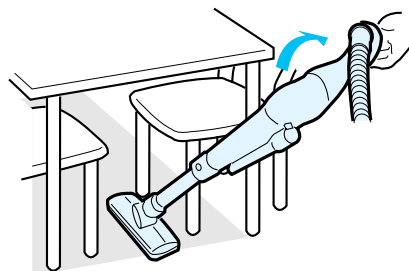
場所に合わせたお掃除のしかた

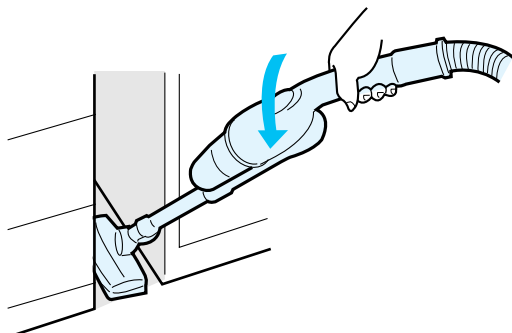
使いかた

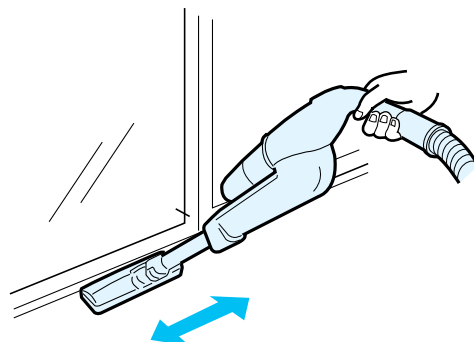
お掃除のポイント

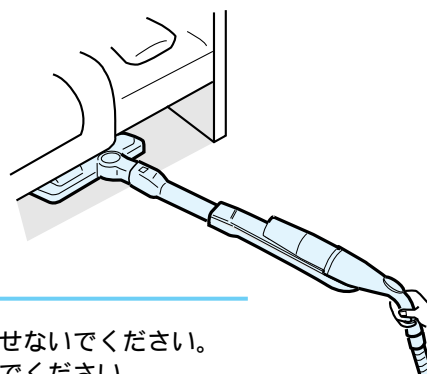
広 い 所

普通のお掃除だけでなく、吸込口の向きを変えて左右にお掃除すると便利です。

テーブルの下

吸込口をたて向きにしてお掃除すると、椅子を動かす手間が省け、便利です。

家具と家具のすき間

吸込口をたて向きにして、すき間をお掃除すると便利です。

お部屋の隅や壁ぎわ

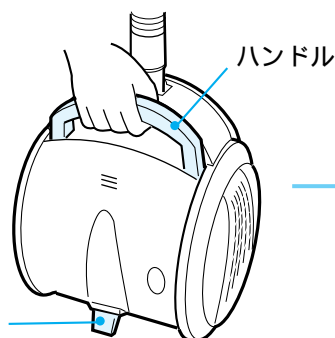
壁ぎわに吸込口の向きを合わせて、お掃除すると便利です。

ベッド・机の下など

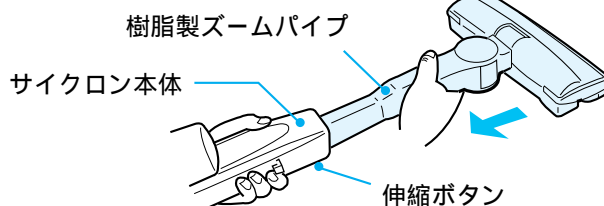
樹脂製ズームパイプを寝かせると、フラットアングルで楽にお掃除できます。

- **一度に多量のごみ・ティッシュなどの大きいごみを吸わせないでください。**
  とくに 優しさモード で一気に多量のごみを吸わせないでください。
  内筒のメッシュやクリーニングリングへのごみのからみつきや、サイクロン本体のごみ詰まりの原因になります。

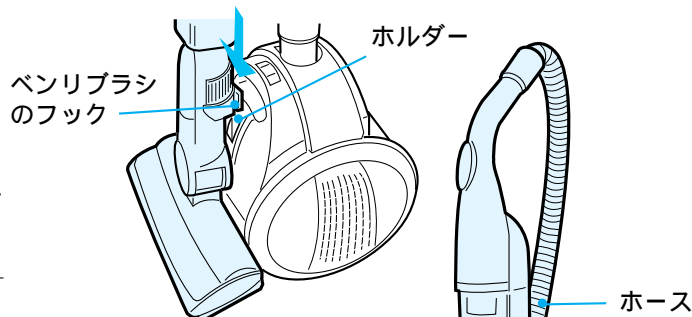
収納のしかた

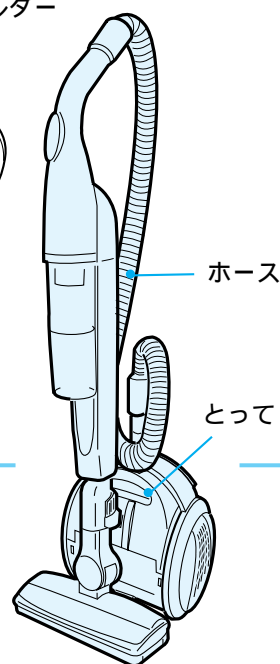
スタンド収納のしかた

1 本体を立てる。

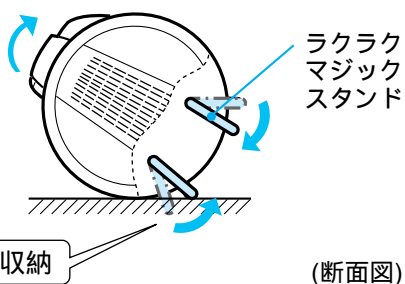
ハンドルを持ち本体を引き上げ、まっすぐに床面に置いてください。ラクラクマジックスタンド(2カ所)が開き本体が立ちます。

2 樹脂製ズームパイプを縮める。

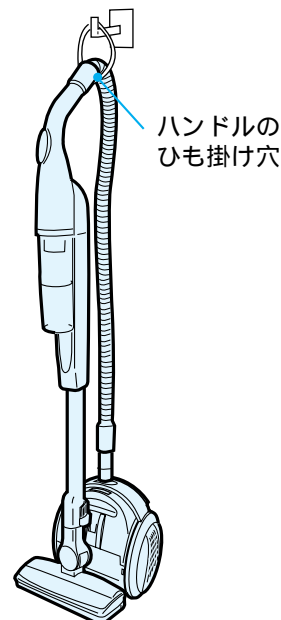
サイクロン本体下側の伸縮ボタンを押し、樹脂製ズームパイプを縮めてください。

3 樹脂製ズームパイプのベンリブラシのフックを本体裏面のホルダーの傾斜にそって差し込む。

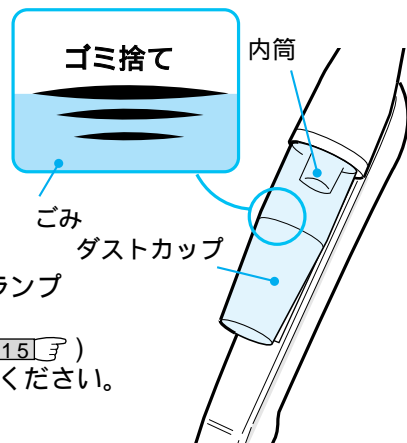
ベンリブラシは元の位置に確実に戻しておいてください。

4 ホースを束ねる。

ホースをサイクロン本体と本体の間にそわせます。

ラクラクマジックスタンドについて

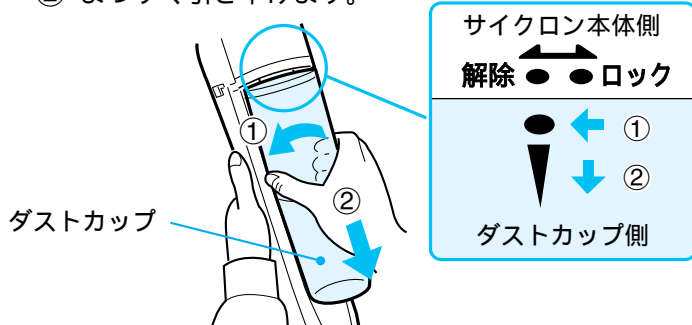
ラクラクマジックスタンドは通常開いており、床に当たると同時に収納され、スムーズに本体反転動作します。

(断面図)

- 樹脂製ズームパイプを伸ばしたままスタンド収納するときは、ハンドルのひも掛け穴にひもなどを通し、市販の「吊り金具」などに掛けてください。

- 「吊り金具」などに掛けるときは宙吊りにしないでください。
  吊り金具が抜け、倒れてけがや床面を傷付ける原因になります。
- 本体が倒れると危険です。とくにお子様にはご注意ください。
- スタンド収納状態のままで持ち運ばないでください。
  サイクロン本体がはずれる場合があります。

ごみの捨てかた

- 衛生面から、お掃除のつどごみを捨てることをおすすめします。
- **ごみがダストカップの「ゴミ捨て」ラインまで溜まる前に、必ずダストカップのごみを捨ててください。**「ゴミ捨て」ラインを越えてそのまま使用を続けると、内筒のメッシュへごみが付着する原因になります。
- **内筒のメッシュやフィルターが目詰まりした場合、クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音)でお知らせし、運転を停止します。(15☞)**
- **ダストカップをはずすときに内筒のメッシュがクリーニングされます。**(15☞)
月2回は内筒とクリーニングリングを中性洗剤で洗った後、水洗いをしてください。(16☞)

ダストカップを取りはずす

1 **手元スイッチの 切 を押し、差込プラグをコンセントから抜く。**

2 **ダストカップを左に回し引き下げる。**
左手でサイクロン本体を握り、ダストカップを右手で持ち、
① ダストカップの●印がサイクロン本体の解除 ●印の位置にくるまで左に回し、
② まっすぐ引き下げます。

- ダストカップをいきおいよく引き下げないでください。ごみが飛び散る場合がありますので、ゆっくりおこなってください。

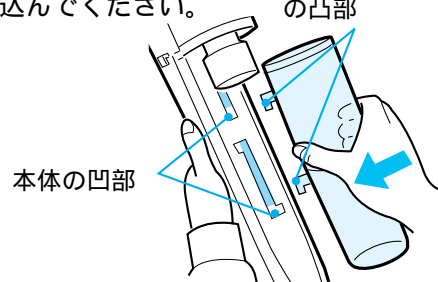
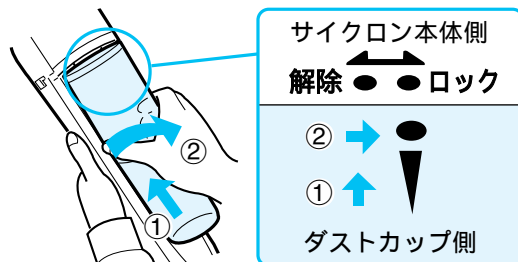
3 **ダストカップを手前にゆっくりと引き出す。**

- ダストカップを引き出した後、サイクロン本体はごみが落ちないように床に寝かせておいてください。

4 **ダストカップ内のごみを捨てる。**

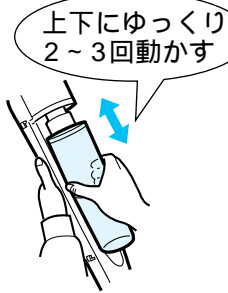
- ダストカップのごみを捨てるときは、ダストカップをごみ捨て面へ近付け、さかさまにし、静かに引き上げるようにすると、ほこりの舞い立ちが防げます。

ダストカップを取り付ける

1 **ダストカップの「ゴミ捨て」マーク側を正面に持ち、サイクロン本体の凹部にダストカップの凸部をはめ込みます。**
凹凸部は上下2カ所ありますので、上下とも確実にはめ込んでください。

2 **左手でサイクロン本体を握り、ダストカップを右手で持ち、**
① **取付け ▲ 印がかくれるまでまっすぐ押し上げ、**
② **ダストカップの●印がサイクロン本体のロック●印の位置にくるまで右に回します。**

- ダストカップの凸部をサイクロン本体の凹部上下2カ所に確実にはめ込まずにダストカップを強く押し上げないでください。
ダストカップ取付板が正しい取付位置から移動しダストカップが取り付けられなくなります。

- **ごみの種類により「ゴミ捨て」ラインにごみが溜まる前に吸い込みが悪くなり、クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音)でお知らせする場合があります。(15☞)その場合はごみを捨てて、内筒とクリーニングリングやフィルターのお手入れをしてください。(16,18☞)**
- **ごみの種類によりダストカップの操作がかたくなる場合があります。その場合はごみを捨てて、内筒とクリーニングリングやダストカップのお手入れをしてください。(16☞)**

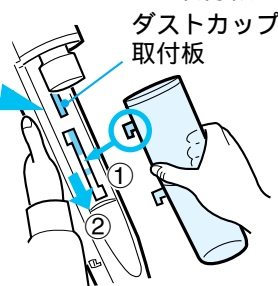
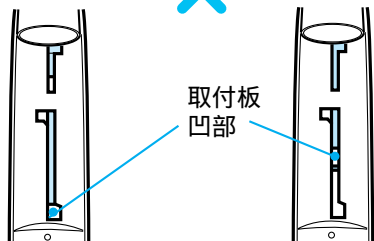
内筒のメッシュのクリーニングについて

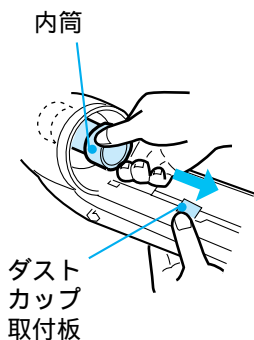
①ダストカップをはずす動作とクリーニングリングが連動して、内筒のメッシュがクリーニングされます。
②メッシュに付着したごみを念入りに取る場合は、カップをしっかり持ち左に回してからゆっくり 2～3回上下させてください。
③ごみの種類によっては内筒メッシュに付着したごみが落ちない場合がありますので、月2回は内筒とクリーニングリングを中性洗剤で洗った後、水洗いしてください。(16)

● ダストカップをいきおいよく上下させないでください。細かいほこりが飛び散る場合がありますので、ゆっくり動かしてください。

ダストカップが取り付けられないとき

処置のしかた、1・2のいずれかをおこなってください。

処置のしかた 1

①ダストカップ上側の凸部をダストカップ取付板の凹部に引っ掛ける。
②ダストカップ取付板を、いちばん下の位置まで 移動させ、正しい取付位置にもどしてください。

処置のしかた 2

内筒を矢印方向に引くとダストカップ取付板が正しい取付位置にもどります。

● **ごみがサイクロン本体に詰まっていると、ダストカップが取り付きません。**
この場合、お手入れ(16)をご覧になり、ごみを取り除いてください。

クリーニングサインについて

内筒のメッシュやフィルターが目詰まりした場合、クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音)でお知らせします。

〔モーターがパワーダウンをして、約15秒でアラーム音と運転を停止しランプのみ点滅を続けます。〕

● 手元スイッチを 切 にしてダストカップ内のごみを捨ててください。
続けてお使いになる場合は約2分後に手元スイッチを押してください。
(2分以内でお使いになると再びランプ点滅とアラーム音でお知らせすることがあります。)
● 内筒とクリーニングリング(月2回)・フィルター(月1回)のお手入をしてください。

処置のしかた

内筒とクリーニングリングやフィルターのお手入れ(16·18)をご覧になり、お手入れをしてください。

● 内筒とクリーニングリングやフィルターのお手入れをしないで、そのまま続けて 強/弱 優しさモード を押さないでください。故障の原因になります。

● **ご使用状況(室温・お掃除モードの種類など)によってはクリーニングサインのお知らせがなくても、吸い込みが弱くなることがあります。**
この場合、内筒やクリーニングリングと、フィルターのお手入れ(16,18)をしてください。

お手入れ

お手入れの際は、必ず**「切」**スイッチを押し、
差込プラグをコンセントから抜いてください。

ダストカップは

ダストカップがほこりで
汚れたときなど。

1 **ダストカップを中性洗剤で洗った後、水洗いする。**

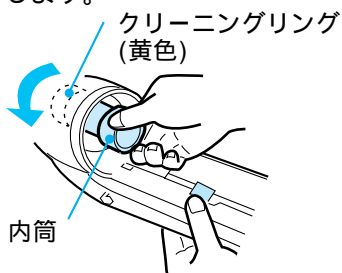
2 **まわりに付いた水を拭き取る。**
柔らかい乾いた布で水滴を拭いた後、ダストカップを取り付けます。

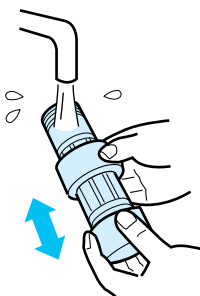
内筒とクリーニングリングは

ごみの種類によって内筒のメッシュが汚れる場合がありますので、**月2回、内筒とクリーニングリングを中性洗剤で洗った後、水洗いをしてください。また、内筒に大量のごみが付着したときも水洗いしてください。**

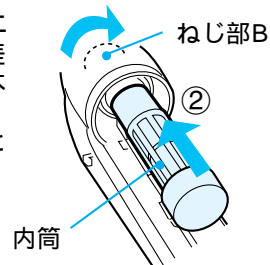
1 **サイクロン本体から内筒とクリーニングリングを回してはずす。**

①サイクロン本体を逆さに傾けてごみが落ちないようにして、内筒をつまんでネジを矢印方向に回してはずします。

②クリーニングリングをつまみ矢印方向に回してはずします。

2 **内筒とクリーニングリングを中性洗剤で洗った後、水洗いする。**

水道水を流し込みながらクリーニングリングを上下させ、クリーニングリングを内筒からはずし、乾いた布で水滴を確実にとる。

3 **内筒とクリーニングリングをサイクロン本体に取り付ける。**

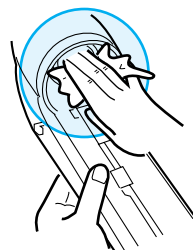
① クリーニングリングねじ部をサイクロン本体のねじ部Aに時計方向に回してしっかりと締め付けます。

② 内筒ねじ部をクリーニングリングの内側に差し込み、サイクロン本体のねじ部Bに時計方向に回してしっかりと締め付けます。

クリーニングリングをねじ部Aに取り付けていないと、内筒のメッシュ部にごみが詰まりやすくなります。必ずしっかりと締め付けてください。

サイクロン本体は

サイクロン本体にごみが詰まった
ときなど。

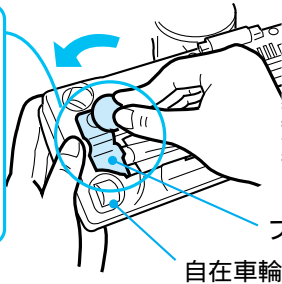
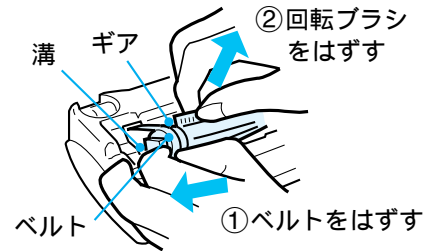
1 **サイクロン本体から内筒とクリーニングリングを回して取りはずす。**

2 **詰まっているごみを取り除いてから、内筒とクリーニングリングをサイクロン本体に取り付ける。**

- 薬剤・漂白剤や温水などを使用しないでください。
- ダストカップの表面を傷めることになりますので、毛の硬いブラシで洗わないでください。
- ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。
- 内筒のメッシュを傷めることになりますので、毛の硬いブラシで洗わないでください。
- 内筒とクリーニングリングをサイクロン本体に取り付けるときは、ねじ部のこじれがないようにしっかりと締めてください。また、内筒のメッシュを強く押さないでください。

回転ブラシは ／糸くず・毛髪などがからみついたときなど。

差込プラグをコンセントから抜いてから吸込口を裏返します。

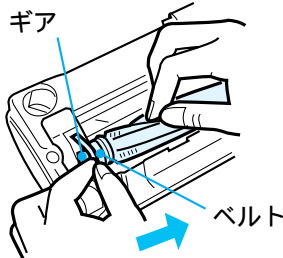
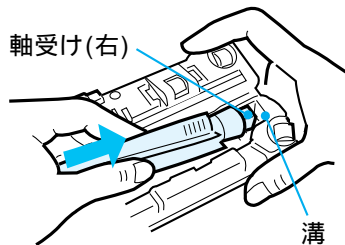
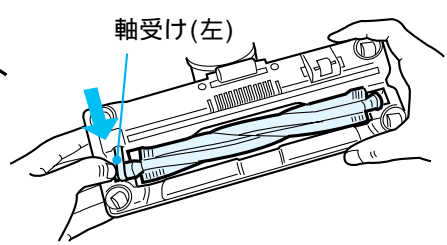
1 ブラシカバーをはずして回転ブラシをはずす。

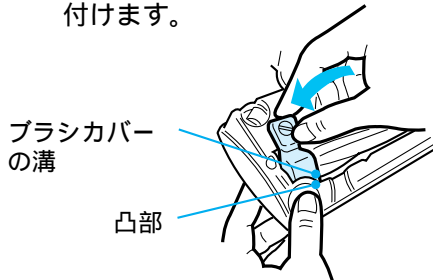
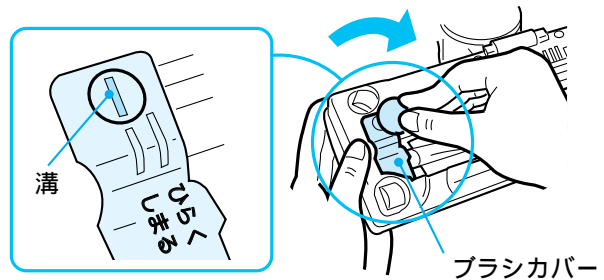
①ブラシカバーの溝にコインなどを入れ「ひらく」の位置まで回してブラシカバーをはずします。

②回転ブラシを少し持ち上げ溝からはずしベルトをギアからはずして回転ブラシをはずします。

2 回転ブラシや自在車輪に付いた糸くずや毛髪などを切って取り除く。

回転ブラシの汚れが目立つようなら水洗いした後、乾いた布で水を拭き取り、陰干しして十分に乾燥させてください。自在車輪は水を含ませた布で拭いてください。

- 薬剤・漂白剤や温水などを使用しないでください。
- ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。
- 回転ブラシに注油しないでください。プラスチックが割れる原因になります。
- 吸込口は水洗いしないでください。故障の原因になります。

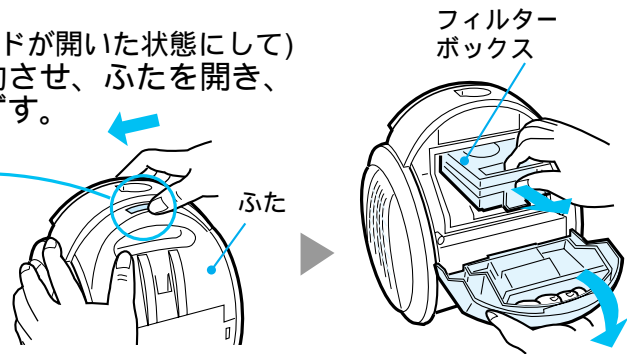
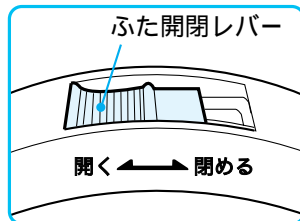
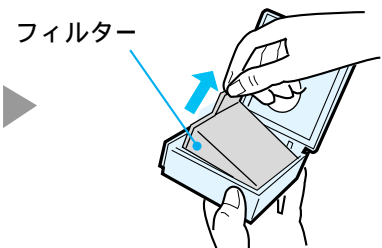
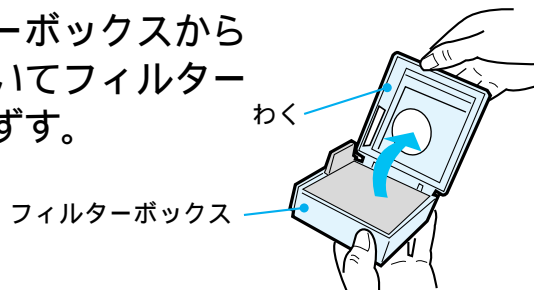
3 回転ブラシを付ける。

①ギアにベルトをかけます。

②軸受け(右)を溝に入れます。

③軸受け(左)を溝に入れます。

4 ブラシカバーを閉める。

①ブラシカバーの溝を吸込口裏面の凸部に掛けてブラシカバーを取り付けます。

②ブラシカバーの溝にコインなどを入れ、「しまる」の位置まで回して、ブラシカバーを閉めます。

- ブラシカバーを必ず閉めてから吸込口をお使いください。
- ブラシカバーの溝に爪を入れて回さないでください。けがをすることがあります。
- 糸くずやひもなどを吸い込ませないでください。回転ブラシがロックし、故障の原因になります。

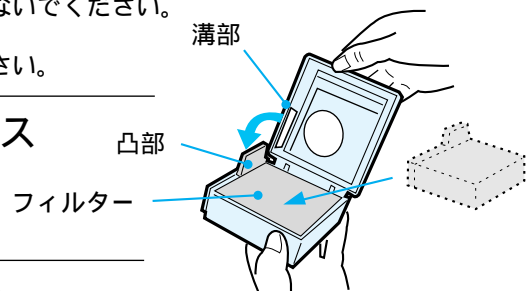
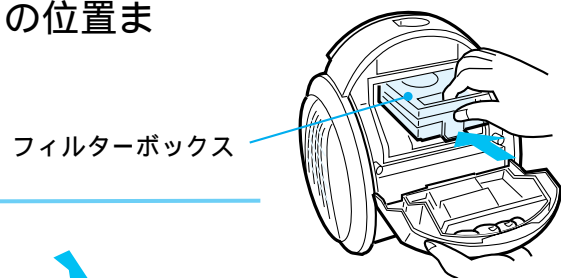
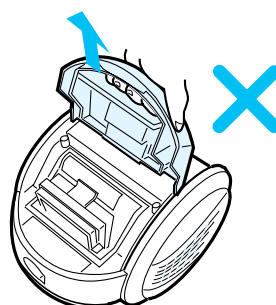
フィルターは

月1回、水洗いしてください。非常に細かいごみがたくさん溜まると吸込力を著しく低下させる原因になります。

1 **本体を立てて、(ラクラクマジックスタンドが開いた状態にして)ふた開閉レバーを開くの位置まで移動させ、ふたを開き、フィルターボックスを引いて取りはずす。**

2 **フィルターボックスからわくを開いてフィルターを取りはずす。**

3 **フィルターボックス·フィルターを水洗い(押し洗い)する。**

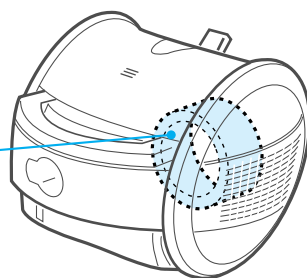
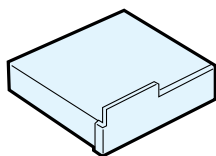
フィルターを押して水を切り、陰干しして乾燥させてください。
油などで汚れが落ちない場合は、中性洗剤で洗った後、水洗いしてください。

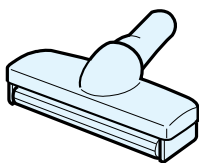
- フィルターの水洗い後は十分に乾燥させてください。水を含んだまま運転するとモーターの故障の原因になります。
- フィルターを洗濯機で洗ったり、もみ洗いしないでください。
- フィルターをねじってしぼらないでください。
- ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。

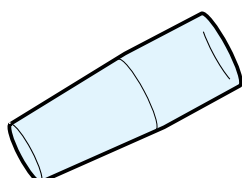
4 **フィルターの凸部をフィルターボックスの溝部に合うように取り付け、わくを閉める。**

5 **フィルターボックスを取り付け、ふたを閉めた後、開閉レバーを閉めるの位置まで移動させる。**

- フィルターは必ず所定の場所に取り付けてください。
  吸込力の低下やモーターの故障の原因になります。
- ふたを開けた後、そのままふたを持って移動させないでください。

本体は／汚れが目立ってきたときに。

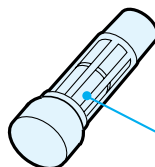
水または、中性洗剤を含ませた布で拭き取ります。
ほこりが取れ、静電気も抑えられます。

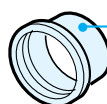
● シンナー・ベンジン類は変質や変色しますので使わないでください。

● HEPAクリーンフィルターは、お手入れの必要はなく、取りはずしはできません。

別売品／お買いあげの販売店、またはお近くのシャープ製品取扱店でお買い求めください。
(希望小売価格は2002年3月現在のものです。)

● フィルター

フィルターボックス内に装備
1,300円(税別)
商品コード
2172130058

● ふとんブラシ

1,400円(税別)
商品コード
2179350204

● ダストカップ

1,600円(税別)
商品コード
2171370045(EC-AP1-V)
2171370046(EC-AP1-D)

● 内筒クリーニングセット

2,400円(税別)
商品コード
2173950646

仕　様

電　　　源	100V　50-60Hz
消費電力	750～約300W (手元スイッチが「切」時、約0.8W)
吸込仕事率	200～約60W
運　転　音	55～約45dB
集じん容積	0.5L
質　　　量	4.5kg (吸込口・樹脂製ズームパイプ・サイクロン本体含む)
本体寸法(mm)	幅250×奥行261×高さ205
コードの長さ	5m

※吸込仕事率とは、JIS規格に定められている吸込力の目安で、最大(～最小値)を表示しています。
使用時の吸塵力は吸込仕事率以外に吸込具の種類や床材の違いなどによって異なります。
お掃除の際は、ふさわしいポジションをお選びください。

保証とアフター

修理を依頼されるときは 持込修理

1. 「故障かな?」(22～23)を調べてください。
2. それでも異常があるときは使用をやめて、必ず差込プラグを抜いてください。
3. お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証書

- **保証期間…お買いあげの日から1年間です。**
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間中

- 修理に際しましては保証書をご提示ください。
  保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は掃除機の補修用性能部品を製造打切後、6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料･部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ

お客様へ…　お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　　ー

サービス

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

●製品の故障や部品のご購入に関するご相談は…… **シャープ修理相談センター** へ
●製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は……… **シャープお客様相談センター** へ

シャープ修理相談センター

●**修理相談センター**（沖縄・奄美地区を除く）
■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0570-02-4649
当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。
(注) 携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		〈東日本地区〉	〈西日本地区〉
●**携帯電話／PHS**でのご利用は……	(一般電話)	043-299-3863	06-6792-5511
●**FAX**を送信される場合は…………	(ＦＡＸ)	043-299-3865	06-6792-3221

●**沖縄・奄美地区**については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **「持込修理」**および**「部品購入」**のご相談 は、上記**「修理相談センター」**のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔ただし、沖縄・奄美地区〕は…＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地区	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	埼玉サービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

シャープお客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

	TEL	FAX	所在地
東日本相談室	TEL 043-297-4649	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06-6621-4649	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。(0204)

故障かな？

次のような場合は、故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

使用中にランプ点滅とアラーム音でお知らせ後、約15秒で本体の運転が停止する。
内筒のメッシュやフィルターが目詰まりした場合、クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音 15☞)でお知らせし、運転が止まります。次の処置をしてください。

こんなとき	次の点をお調べください	次の処置をしてください
● ランプ点滅とアラーム音がお知らせし本体の運転が止まる	● ごみがダストカップにいっぱいになっていませんか。 ● 内筒のメッシュやフィルターが目詰まりしていませんか。	● ごみを捨ててください。(14☞) ● 内筒とクリーニングリングやフィルターのお手入れをしてください。(16・18☞)
	● ティッシュなどの大きいごみが内筒に巻き付いていませんか。	● ごみを取り除いてください。
	● サイクロン本体にごみが詰まったまま長く使用していませんか。	● お手入れしてください。(16☞)
	● ホース･樹脂製ズームパイプ･吸込口などにごみが詰まったまま長く使用していませんか。	● ごみを取り除いてください。
● 手元スイッチを入れてもモーターが動かない	● 差込プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	● 差込プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
	● ホースがホース差込口にしっかり差し込まれていますか。	● ホースをホース差込口にしっかり差し込んでください。
	● 手元スイッチの「パワーブラシ」ボタンだけ押していませんか。	● 「強/弱」「優しさモード」のいずれかを押してください。
● 吸込力が弱い	● ダストカップがごみでいっぱいになっていませんか。 ● 内筒のメッシュが目詰まりしていませんか。 ● サイクロン本体にごみが詰まっていませんか。 ● フィルターが目詰まりしていませんか。	● お手入れしてください。(16・18☞)
	● フィルターボックスが確実に取り付けられ、ふたが閉まっていますか。	● 確認してください。(18☞)
	● 樹脂製ズームパイプ･吸込口などに、ごみが詰まっていませんか。	● ごみを取り除いてください。
	● クリーニングリングが取り付けられてなく、ごみが詰まっていませんか。	● クリーニングリングをしっかり取り付けてください。(16☞)
● コードが巻き取れない	● 片よって巻き取られたり、よじれていませんか。	● 少し(1〜2m)引き出して、再度巻き取ってください。
● 差込プラグおよびコードが異常に熱い	● 差し込みがゆるくぐらついていませんか。	● コンセントの修理を販売店でご相談ください。
	● 延長コードを使用していませんか。 差込プラグおよびコードは通常40℃程度の温度になりますが、異常ではありません。	● 延長コードをやめコンセントに直接差し込んでください。
● 吸込口の動きが悪い	● 自在車輪に毛髪などが巻き付いていませんか。	● 毛髪などを取り除いてください。
● ダストカップがサイクロン本体に取り付かない	● サイクロン本体にごみが詰まっていませんか。	● サイクロン本体のごみを取り除いてください。(16･23☞)
	● ダストカップ取付板が上に上がっていませんか。	● ダストカップ取付板をいちばん下まで下げてください。(15☞)

こんなとき	次の点をお調べください	次の処置をしてください
● 回転ブラシが回転しない ● 回転ブラシが止まる	●「パワーブラシ」ボタンが「切」になっていませんか。	●「パワーブラシ」ボタンを押してください。
	● 毛髪や糸くずなどがからんでいませんか。 ● 玄関マットなどをかみ込んでいませんか。	● 切 スイッチを押して、差込プラグを抜いてから回転ブラシに巻き付いたものを取り除いてください。（17☞）
	吸込口保護のために自動停止装置が付いています。約5分後に自動停止機能が解除され、ふたたび使用できます。	
● プラズマクラスターイオンランプが点滅しない	● プラズマクラスターイオンの発生を停止していませんか。	● 切 スイッチを2秒以上押してピッピッと音が鳴ったことを確認した後、運転してください。（9☞）

以上の処置をしても異常のある場合は、「保証とアフターサービス」（20☞）をご覧ください。

こんなとき	故障ではありません
● 製品から音がする(チッチッチッ)	● プラズマクラスターイオン発生時に出る音です。 気になるときは、プラズマクラスターイオンの発生を止めてください。（9☞）
● 排気口からオゾンのにおいがする	● プラズマクラスターイオンユニットで発生するオゾンのにおいがすることがあります。 オゾンの濃度はごくわずかであり、健康上問題ありません。 またすぐに分解するため、部屋に充満することはありません。

ダストカップのサイクロン本体への取り付け操作が重い、またはロックがかからない場合は、次の処置をおこなってください。

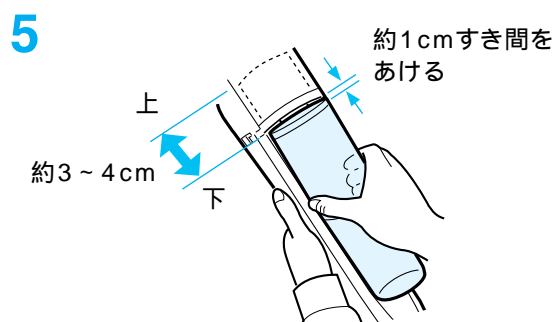
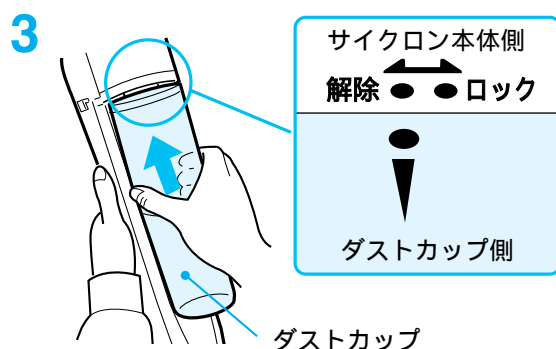
内筒・クリーニングリング(黄色)が確実に取り付けられていないとサイクロン本体内に細かいごみが溜まり、ダストカップの取り付けが不具合になる場合があります。
次の手順でごみを取り除いてください。

1. ダストカップのごみを捨ててください。（14☞）
2. 内筒およびクリーニングリングが確実に取り付けられているか確認してください。
3. ダストカップをサイクロン本体に取り付けて右図の矢印方向に引き上げます。
(図のようにダストカップは解除に合わせます。)
4. 差込プラグをコンセントに差し込み、「強」で運転します。
5. 「強」の運転状態でダストカップをしっかり持ち、ゆっくりと約3～4cm上下に5～6回動かしてください。
この動作によって、サイクロン本体内部のごみが取り除かれ、カップ内にごみが溜まります。

上下に動かすときは、指を挟まれないようにご注意ください。

6. 電源を「切」にして運転を止めます。

故障かな？

その他

長年ご使用の掃除機の点検を!

このような症状はありませんか?

- スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。
- コードを折り曲げると、通電したりしなかったりする。
- 運転中に異常な音がする。
- 本体ケースが変形したり、異常に熱い。
- こげくさいにおいがする。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故の防止のため、使用を中止し差込プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

● 製品についてのお問い合わせは…
シャープお客様相談センター

東日本相談室 TEL 043-297-4649 FAX 043-299-8280
西日本相談室 TEL 06-6621-4649 FAX 06-6792-5993

《受付時間》月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

● 修理のご相談は… 21ページ記載の「お客様ご相談窓口のご案内」をご参照ください。

● シャープホームページ http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　　　社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電化システム事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

この取扱説明書は，環境にやさしい再生紙および、大豆油インキを使用しています。

TINSJA297VBRZ 02GK ④